

事務事業マネージメントシート

作成日 平成23年 05月 06日

事務事業名	指定無形文化財保存育成支援事業				担当	教育委員会 文化課 文化財係						
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり				電話番号	0285-83-7731					
施策名	5	文化財の保護と継承				<input type="checkbox"/>	実施計画上の主要事業					
基本事業名						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					
法令根拠	文化財保護条例、指定無形民俗文化財保存育成等補助金交付要綱						<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成5年度～)					
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4社会教育費	2文化財保護費			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度～ 年度)					
事業概要	県指定、市指定の無形民俗文化財保存会に対し、保存育成のため補助する。県指定は中郷大日堂獅子舞保存会のみで、大前神社大大神楽、熊野神社太太神楽、京泉相官神社大大神楽、三の宮神社太太神楽、中村八幡宮太太神楽、長沼八幡宮太々神楽、西田井八社五社、下大沼八社五社、南中里大蛇つなひきの9つの保存会については、市指定文化財である。1団体当たり9万円を補助していたが、平成22年度から85,000円に減額となった。なお、下大沼八社五社保存会は、平成20年度から活動を休止しているため、補助金は交付していない。											

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 22年度実績 4~5月交付申請を受理し、補助金交付規則により交付決定する。その後、請求を受けた後、5月末に交付し、翌年3~4月に実績報告。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>19年度(実績)</th> <th>20年度(実績)</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア:補助金額</td> <td>千円</td> <td>810</td> <td>810</td> <td>810</td> <td>765</td> <td>765</td> </tr> <tr> <td>イ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア:補助金額	千円	810	810	810	765	765	イ:							ウ:							エ:							オ:						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																					
ア:補助金額	千円	810	810	810	765	765																																					
イ:																																											
ウ:																																											
エ:																																											
オ:																																											
23年度計画 事業内容は22年度と同じ。																																											
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 指定無形民俗文化財保存会	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>19年度(実績)</th> <th>20年度(実績)</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア:県・市指定無形民俗文化財保存会の数</td> <td>件</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>イ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア:県・市指定無形民俗文化財保存会の数	件	9	9	10	10	10	イ:							ウ:							エ:							オ:						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																					
ア:県・市指定無形民俗文化財保存会の数	件	9	9	10	10	10																																					
イ:																																											
ウ:																																											
エ:																																											
オ:																																											
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 指定無形民俗文化財の保存育成	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>19年度(実績)</th> <th>20年度(実績)</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア:保存育成者数</td> <td>人</td> <td>217</td> <td>220</td> <td>169</td> <td>171</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>イ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア:保存育成者数	人	217	220	169	171	180	イ:							ウ:							エ:							オ:						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																					
ア:保存育成者数	人	217	220	169	171	180																																					
イ:																																											
ウ:																																											
エ:																																											
オ:																																											
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 伝承者を育成し、貴重な無形民俗文化財を後世に残す。	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>19年度(実績)</th> <th>20年度(実績)</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア:良好に伝承されている育成団体</td> <td>団体</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>イ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア:良好に伝承されている育成団体	団体	9	9	9	9	9	イ:							ウ:							エ:							オ:						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																					
ア:良好に伝承されている育成団体	団体	9	9	9	9	9																																					
イ:																																											
ウ:																																											
エ:																																											
オ:																																											
(2) 総事業費の推移																																											
投 入 量	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																					
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0																																					
	県支出金	千円	0	0	0	0																																					
	地方債	千円	0	0	0	0																																					
	その他	千円	0	0	0	0																																					
	一般財源	千円	810	810	810	867																																					
	事業費計(A)	千円	810	810	810	867																																					
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	0																																					
	延べ業務時間	時間	24	24	24	0																																					
	人件費計(B)	千円	101	100	97	102																																					
	トータルコスト(A)+(B)	千円	911	910	907	969																																					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																																											
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか。	古くから継承されてきた無形民俗文化財伝承者の高齢化が進み、保存会が衰退する状況が見られてきたので後継者育成のために実施した。																																										
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	保存会員は高齢になってやめる人もいるが、若い後継者が少しづつではあるが育っている。 平成21年度から1団体が活動を休止している。																																										
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	練習や発表のためにかかる費用(衣装・交通費等)が、個人や自治会に負担になっているという意見がある。																																										

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 指定無形民俗文化財の保存・伝承は市の施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 指定無形民俗文化財の保存・伝承のために必要である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 伝統文化を保存するためには、後継者の育成は必要である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 後継者育成を支援するための事業である。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 保存会の存続が、困難になる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 保存伝承するための最小限の費用である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金交付事務のみである。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域からの負担もある。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？		

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		